

J A S 構造材利用拡大事業等説明会を開催

平成30年9月25日（火）午後13：30より東濃松ホールにおいて、J A S 構造材を普及させるために全木連が今年度より開始し、各県木連が普及啓発、事業説明会、窓口となって事業を行う、J A S 構造材利用拡大事業の説明会を実施しました。全木連の当事業担当、平松秀仁氏を講師に招き、当事業への参加、申請方法などを説明して頂いた。設計者、施工業者、木材製材、流通業者等、関係者含め37人の聴講があった。

この事業は、補助対象となる非住宅の木造建築物を新築する場合、構造材にJ A S 規格品を使用すると建築施工業者に調達費が支援される事業である。J A S 規格品の使用量によるが、①一般製材（機械等級区分構造用製材に限る）及び2×4工法構造用製材では上限100万円まで、②CLTでは上限1,500万円まで。①と②を併用すると上限1,600万円まで支援される。つづいて合法木材、クリーンウッド法に関する、岐阜県での現状を藤沢副会長が説明を行った。

最後に、県木連が開発したJ A S 製材品を活用した商品を、N P O 法人WOODACの河本和義代表が木造平行弦トラス「ハリーさん」、岐阜県J A S 製材品等供給・利用推進組合の福田弥生事務局長が「火バリ」の説明をそれぞれ行った。会場には、J A S 製材品に関するパンフレットや、木材利用に関する情報提供を行うコーナーを設けた。（鍵谷）



説明会の様子



全木連 平松氏の講義

県木連の30年度補正予算（案）、一般賛助会員の入会について決定

—第150回理事会の報告—

平成30年11月12日（月）の13：30より、岐阜市内のぎふ森林文化センターにおいて本年度2回目の理事会が開催されました。以下のような審議事項、報告事項等で会議が行われました。出席理事数は25名となりました。理事会の前には、第3回正・副会長会議も行われました。

1. 審議事項

今回の審議事項は、次の四項目でした。

議案第1号 平成30年度上半期事業報告と補正予算（案）について

- 上半期事業報告……全木連J A S 構造材利用拡大事業
- 主な補正予算事業……県公募事業：国内競争力強化支援事業
新規用途導入促進事業

議案第2号 会員、一般賛助会員の入会等について

- 退会申し出協同組合：(協)ウッディモール揖斐 飛騨金山の家建築(協)
- 入会申込一般賛助会員：加子母森林組合、(有)基信、(株)イワビシ、ぎふ木造平行弦トラス施工支援組合

議案第3号 平成30年度下半期主要事業について

- 省エネ講習会 ○「和の住まい」リレーションポジウム
- J A S 構造材利用拡大事業

議案第4号 平成31年度理事会及び総会開催日について

- 平成31年度第151回理事会 H31年4月26日(金)
- 平成31年度第59回通常総会 H31年5月30日(木)

結果的には、すべて原案どおり承認されました。

2. 各種報告事項等

県木連、県木材利用推進協議会、県木材産業政治連盟の活動報告が説明された。特に「木の日」の要望活動、全国木材産業振興大会等活動報告がされた。また理事会終了後、毎年、新年の恒例行事となっている岐阜県木材業界新年互礼会実行委員会が開かれた。吉田芳治実行委員長（県木連岐阜地域担当副会長）から基本的事項が報告された。

3. 情報提供・情報交換等の意見交換会

県木連篠田暢之監事から経済動向、県庁県産材流通課高井課長、岐阜県中小企業団体中央会森瀬課長からそれぞれ関係の情報提供等があった。（藤沢）



理事会の様子



挨拶する丸山会長